

平成 21 年 4 月 28 日

各 位

 $\frac{1}{2}$  会 社 名  $\frac{1}{2}$  力  $\frac{1}{2}$  株 式 会 社 代 表 者 名 代表取締役社長 鷹 野 準

(コード番号:7885 東証第一部)

問合せ先責任者 取締役企画室長 臼 井 俊 行

(TEL 0265-85-3150)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成21年2月6日に公表した通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

## 1. 平成 21 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正(平成 20 年 4 月 1 日~平成 21 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回(平成 21 年 2 月 6 日) 発表予想(A)	百万円 21,180	百万円 △560	百万円 △480	百万円 △500	円 銭 △31.95
今回修正予想(B)	21, 580	△355	△270	△730	△46. 80
増減額(B-A)	400	205	210	△230	_
増 減 率 (%)	1.9	_	_	_	_
(ご参考) 前期実績 (平成 20 年 3 月期)	22, 216	610	668	401	25. 53

## 2. 平成21年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日~平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回(平成 21 年 2 月 6 日) 発表予想(A)	百万円 19,980	百万円 △550	百万円 △520	百万円 △520	円 銭 △33.23
今回修正予想(B)	20, 220	△310	△220	△770	△49. 36
増減額(B-A)	240	240	300	△250	_
増 減 率 (%)	1.2	_	_	_	_
(ご参考) 前期実績 (平成 20 年 3 月期)	20, 793	671	684	385	24. 50

## 3. 修正の理由

平成 21 年 3 月期通期の業績予想に関し、経営合理化に関する取り組みにともなう会計処理により、また、 経済環境の変化を踏まえた固定資産の減損等の評価損失を特別損失として見込んだこと、子会社の解散および 特別清算にともなう特別損失を見込んだこと等により、上記の通り修正を行いました。

今回の修正の主な内容は以下のとおりであります。

(1) 経営合理化に関する取り組みにともなう会計処理による予想の修正

本日開示しております「経営合理化の取り組みに関するお知らせ」のとおり、経営合理化策のうち従業員賞与の見直しに基づく賞与引当金等の見直しを行ったところ、平成21年3月期の業績においては、賞与引当金の戻入の発生等により、営業損益、経常損益、税引前(税金等調整前)当期純損益において296百万円の増益要因が発生する見通しとなりましたので、修正を行うものであります。

(2) 固定資産の減損等の特別損失の計上による予想の修正

現在の事業環境および今後の見通しを勘案した結果、また、資産グループの保有区分の見直しを行った結果、平成21年3月期連結業績上保有する固定資産の減損損失合計244百万円を、平成21年3月期個別結業績上保有する固定資産の減損損失合計191百万円を特別損失に計上する見込みとなりましたので、修正を行うものであります。

(3) 子会社の解散および特別清算にともなう特別損失等の計上による予想の修正

当社の連結子会社であるオプトワン株式会社が、本日開催の同社取締役会および臨時株主総会において、解散し、特別清算することを決議したことにより、現時点で見込まれる清算等にともなう損失概算額として、平成21年3月期連結業績上事業整理損失引当金繰入額33百万円を特別損失として計上する見込みであり、平成21年3月期個別業績上、平成21年3月期期初から第3四半期までにすでに貸倒引当金として計上しているものに解散・清算にともなう費用見積額を加え、関係会社整理損失引当金繰入額196百万円を特別損失として計上する見込みとなりましたので、修正を行うものであります。

(4) その他、最近の業績の動向等を踏まえた予想の修正

その他、最近の業績動向および期末における各種決算処理の見通しを反映させ、予想の修正を行っているものであります。

以上

(注)業績見通しにつきましては、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は様々な要因によりこれらの業績 予想とは異なることがありますことをご承知おきください。